



残暑お見舞い申し上げます。

猛暑日が続いておりますが、皆様におかれましては、日頃のEM活用でお元気にお過ごしのことと拝察いたします。また、中国地方や東北地方における豪雨による水害につきまして、心よりお見舞い申し上げます。

特に7月末に山口県と島根県を襲った豪雨は被害が大きかったようですが、早速当NPOの会員様らが中心となり、悪臭除去をはじめとするEM散布活動を実施いたしました。

この取り組みが、8月14日付、山陰中央新報朝刊にて取り上げられましたので、紹介いたします。

今後も不安定な気候が続くことが予想されます。この点に関しましては、WEBエコピュアの比嘉先生コラム「新・夢に生きる」第74回、「EMによる災害に対する危機管理」を是非ご一読ください。  
(<http://www.ecopure.info/reasai/teruohiga/yumeniikiru74.html>)

また、善循環の輪にご登録いただいている「EM共生ネットワーク山梨峡中」の山村会長による日頃のEM普及活動が、8月6日付、山梨日日新聞で取り上げられましたので、紹介いたします。

8月6日付、山梨日日新聞

↓8月14日付、山陰中央新報

## 悪臭除去にEM菌散布

津和野

シルバー人材センターなど ボランティア活動

7月28日の豪雨で流入した土砂や、浸水した家具などのごみから発する悪臭を除去しよ



豪雨災害で出たごみや土砂にEM菌の活性液を散布するボランティア—島根県津和野町耕田

悪臭は土砂やごみの中の有機物が腐敗して発生したメタンガス、硫化水素が原因。有機酸を含むEM菌を投入すると、悪臭が消え、酸化腐敗を抑制するとい

うと、EM菌(有用微生物群)を散布するボランティア活動が13日効性を実感し、18日から希望を受け付け、無償ボランティアとして出向く。

同日は各団体から計10人が参加。町からの要請を受け、同町耕田の旧不燃物処理場で、仮置きされている家具、畳、プラスチックごみなど約80〜100トと周辺土壌に、EM菌を培養した2次活性液400リを散布した。

同シルバー人材センターの岩本文夫事務局長(72)は「まいてすぐに虫がいなくなり、嫌な臭いが消える。効果を実感してもらいたい」と話した。問い合わせは、同センター、電話0856(74)1501。

## EM菌の力広めたい

岩窪町の男性 活性液配布が好評



価値を知ってもらおうと、EM活性液を配布している山村丈夫さん — 甲府市塚原町

甲府市岩窪町の山村丈夫さん(69)は、土壌改良や水質浄化などに役立てようと、「EM活性液」を作って地域住民らに無償で提供している。活性液のものであるEM菌の力を多くの人に知ってもらいたいとの一心で続けていて、利用者から好評という。

EM菌を活用した環境浄化活動に取り組む「EM共生ネットワーク山梨峡中」の会長を務める山村さんらによると、EM菌は乳酸菌や酵母、光合成細菌などによる有用微生物群で、活性液はEM菌の中に餌である糖蜜を入れて菌を増殖させた液体。「畑や樹木にまくことで土に活力が出るほか、車などにつけると汚れが付きにくくなる」(山村さん)効果があるという。

山村さんは活性液を自宅で作り、約5年前から知人らに配り始めた。同市古府中町の数野清一さん(69)は「液で風呂掃除をしたらとてもきれいになった。ありがたい」と話している。山村さんは今後也希望者に配っていくといい、「EM菌は安全で環境にもいい。その価値を知ってもらおうきっかけにしたい」と話す。